

# 2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟 総会次第

平成31年2月19日(火)午後5時30分～  
衆議院第1議員会館1階多目的ホール

- 1 開 会 2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟  
事務局長 竹本 直一
- 2 ご挨拶 2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟  
会長 二階 俊博
- 3 ご挨拶 関西商工会議所連合会会長・大阪商工会議所会頭 尾崎 裕  
大阪府知事 松井 一郎
- 4 議 事
  - (1) 万博開催に向けた取り組み状況について
  - (2) 議連の新名称について
  - (3) その他

## 関係省庁・経済界等からの出席者

- |                         |    |    |
|-------------------------|----|----|
| ・経済産業省 商務・サービス審議官       | 藤木 | 俊光 |
| ・関西商工会議所連合会会長・大阪商工会議所会頭 | 尾崎 | 裕  |
| ・大阪府知事                  | 松井 | 一郎 |
| ・関西経済連合会万博推進担当副会長       | 八木 | 誠  |
| ・大阪市副市長                 | 田中 | 清剛 |
| ・その他関係省庁(外務省・国土交通省担当)   |    |    |
| ・各都道府県及び各政令市東京事務所長      |    |    |

# 平成三十七年に開催される国際博覧会の準備及び運営のために 必要な特別措置に関する法律案【万博特措法】の概要

## 1. 背景

○平成30年11月に行われた国際博覧会条約締約国の投票によって、日本が平成37年に開催される国際博覧会の開催国になることが決定。平成37年の開催に向けて、早急に準備を進める必要がある。

## 2. 法律の概要

○平成37年に開催される国際博覧会が国家的に特に重要な意義を有することに鑑み、国際博覧会の円滑な準備及び運営に資するため、国際博覧会推進本部の設置及び基本方針の策定並びに博覧会協会の指定等について定めるとともに、国の補助、寄附金付郵便葉書等の発行の特例等の特別の措置を講ずる。

## 3. 措置事項の概要

### (1) 博覧会協会の指定等

- ・経済産業大臣は、博覧会の準備及び運営に係る業務を適正かつ確実に行うことができると認められるものを、「**博覧会協会**」として指定することができるものとする。
- ・博覧会協会の業務を定めるとともに、博覧会協会は、経済産業大臣に対し、**事業計画書等を提出**するとともに、**役員の選任又は解任をしたときは、その旨を届け出**なければならないものとする。
- ・経済産業大臣は、博覧会協会に対し、その業務等に関し、**必要な報告をさせる**とともに、**監督上必要な命令**をすることができるものとする。



### (2) 博覧会の円滑な準備及び運営のための支援措置等

- ・国は、博覧会協会に対し、**博覧会の準備又は運営に要する経費**について、予算の範囲内において、その**一部を補助**することができるものとする。
- ・**寄附金付郵便葉書等**を、博覧会協会が調達する博覧会の準備及び運営に必要な資金に充てることを寄附目的として**発行**することができるものとする。
- ・博覧会の準備及び運営を支援するため、博覧会協会の要請に応じて**博覧会協会に国の職員を派遣**できるものとし、国家公務員共済組合法、国家公務員退職手当法等の特例等、国の職員の派遣に関し必要な規定を整備するものとする。

### (3) 国際博覧会推進本部の設置

- ・BIE（博覧会国際事務局）総会が博覧会の登録を承認し、我が国が各国への参加招請を本格化する時期（2020年半ば頃の予定）から、博覧会の準備及び運営に関する施策の総合的かつ集中的な推進を一層図るため、内閣に**基本方針の案の作成及び基本方針の実施の推進等**を担う「**国際博覧会推進本部**」を置く。
- ・本部が置かれている間、**専任の大臣**を置く。※公布から2年を超えない範囲内の日に施行。

## 4. 関連スケジュール

<2019年>	法公布後1ヶ月内	施行 ⇒ 博覧会協会の指定等
<2020年>	5/3	登録申請書の博覧会国際事務局（BIE）への提出期限
	6月又は11月（P）	BIE総会での登録申請書の承認（計画段階から実行段階へ） ⇒ 国際博覧会推進本部及び専任大臣の設置
<2025年>	5/3 - 11/3	国際博覧会開催

# 大阪・関西万博の概要について

平成31年2月19日

経済産業省

# 大阪・関西万博について

## 1. テーマ・サブテーマ・コンセプト

テーマ：**いのち輝く未来社会のデザイン**

“Designing Future Society for Our Lives”

サブテーマ：多様で心身ともに健康な生き方  
持続可能な社会・経済システム

真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の  
未来像を参加者で共に創る。

コンセプト：未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

## 2. 基本事項

①開催場所

ゆめしま  
夢洲（大阪市臨海部）

②開催期間

2025年

5/3～11/3(185日間)

③入場者(想定)

約2,800万人

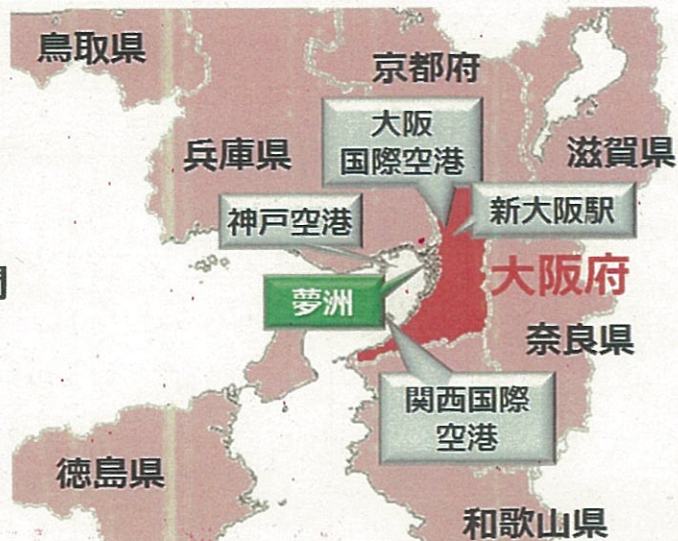
④会場建設費(想定)

約1,250億円

⑤経済波及効果（試算値）

2.0兆円（建設費約0.4兆円 運営費約0.5兆円 消費支出  
約1.1兆円）

万博開幕までに行われる周辺インフラ整備及びその2次波及効果を含めれば約5.8兆円



## 名称

◆日本語（正式）：2025年日本国際博覧会  
同（略称）：大阪・関西万博

◆英語：EXPO2025, OSAKA, KANSAI, JAPAN

## 主なスケジュール

【2018年】

12月21日：国際博覧会担当大臣の任命  
関係閣僚会議の設置及び開催

【2019年】

1月25日：大阪・関西万博具体化検討会開催

1月30日：博覧会協会の設立総会

2月8日：万博特措法案の閣議決定

年内：登録申請書のBIEへの提出（目標）

2020年6月：BIE総会（登録申請書の承認（目標）  
→ 参加招請の開始）

10月～2021年4月：ドバイ万博  
（参加招請の実施）

2025年5月～11月：大阪・関西万博開催

# 大阪・関西における2025年国際博覧会の開催に向けて

- 11月23日、博覧会国際事務局（BIE）総会で、日本が2025年万博の開催国に決定。
- 東京オリパラ後の国家的なプロジェクトであり、開催に向けて、政府、地元自治体及び経済界がオールジャパンの体制で、大阪・関西万博の成功に万全を期す。

## 1. SDGsの達成に向けた万博

- 誘致に際して、Society 5.0を鍵としたSDGs（持続可能な開発目標）達成（目標年2030年）への貢献という訴えが国際的に高く評価された。
- そのため、Society 5.0に向けた成長戦略を一層加速化させるとともに、途上国を含めた多くの参加国と共に創る万博とすること（Co-creation）が重要。

## 2. 未来社会の実験場として

- 万博を、新たなアイデアが続々と生み出され、社会実装に向けて試行される「未来社会の実験場」とする。
- そのため、実験的なプロジェクトを推進する仕組みを設けるとともに、国内外の新たな人材を登用するなど、イノベーションの創出に向けた工夫をこらすことが重要。

## 3. 地域経済活性化の起爆剤に

- 万博は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。
- 開催地である大阪・関西のみならず、日本各地を訪れる観光客を増大させ、地域経済が活性化する「起爆剤」とする。

# 会場計画の概要

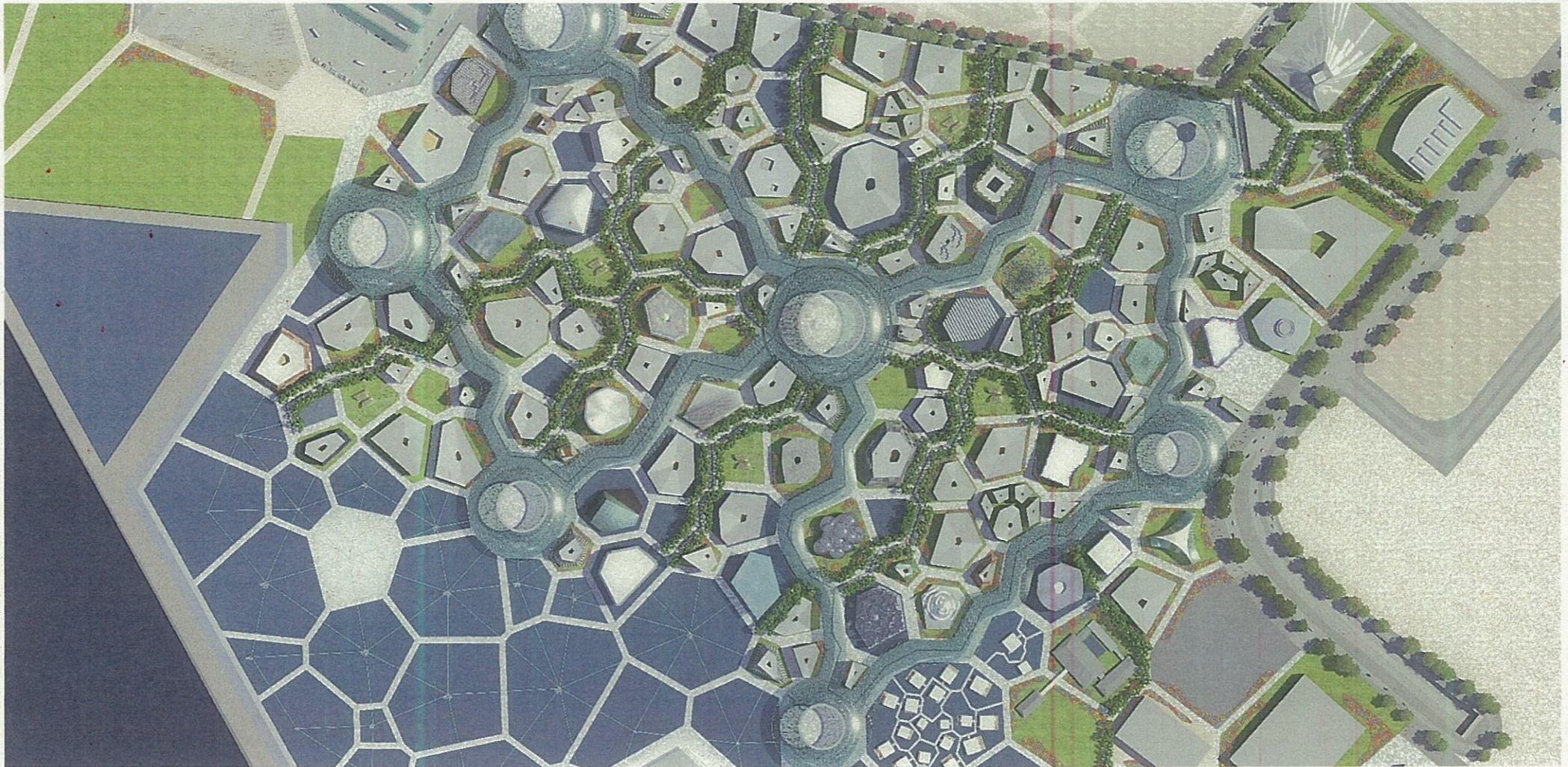
# 鳥瞰図

- 会場は、大阪のウォーターフロントに位置する人工島・夢洲（ゆめしま）。
- 会場面積は、155ヘクタール。（※会場中心部にパビリオン等、南側水面に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ整備。）



## 非中心、分散型のパビリオン配置

- ボロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない分散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される**未来社会を表現**。
- 2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。

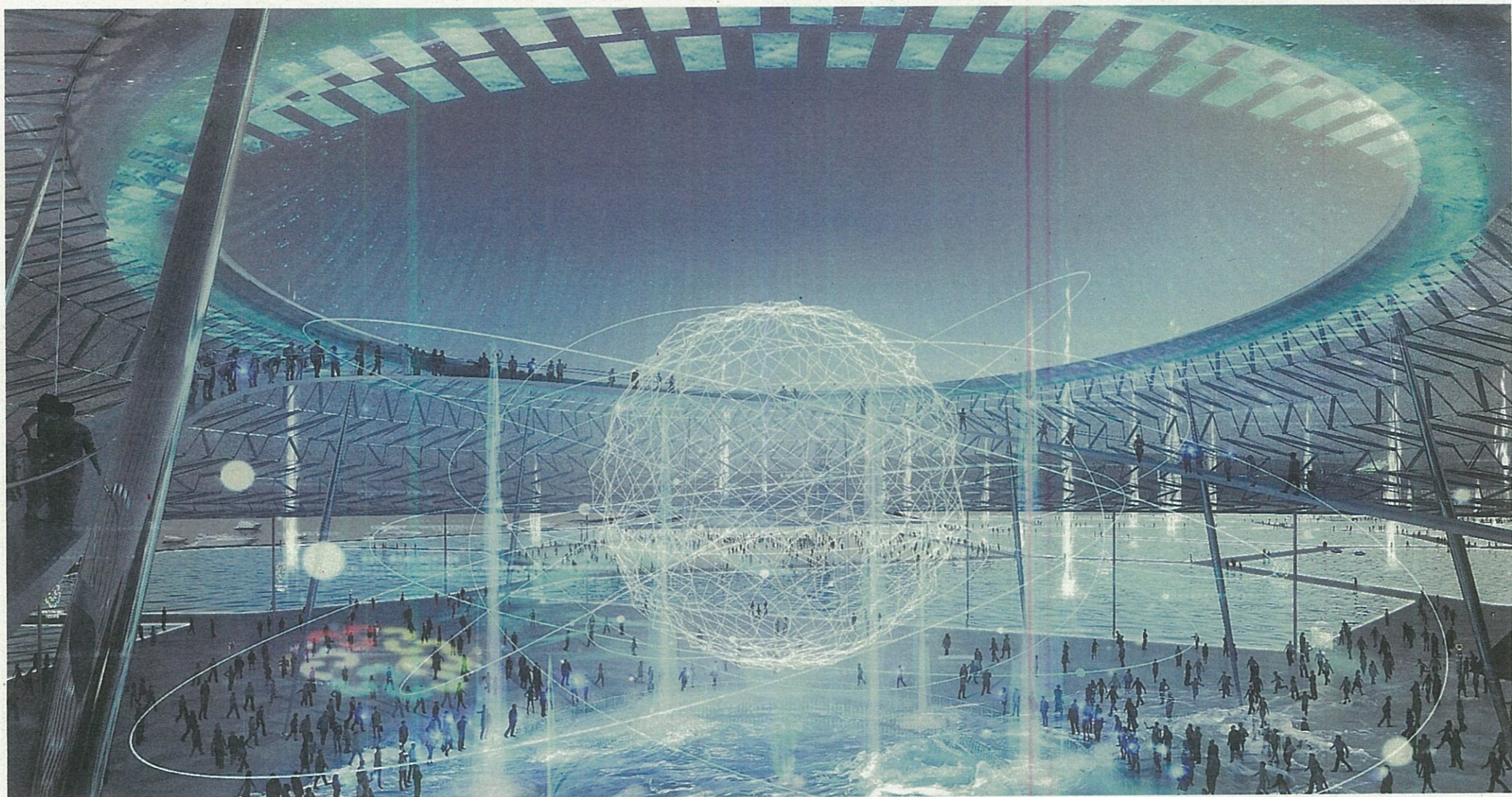


（※）ボロノイパターン:自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。



## 大広場：「空」（くう）

- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。
- AR（拡張現実）・MR（複合現実）技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



## 来場者にやさしい会場

- メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供。



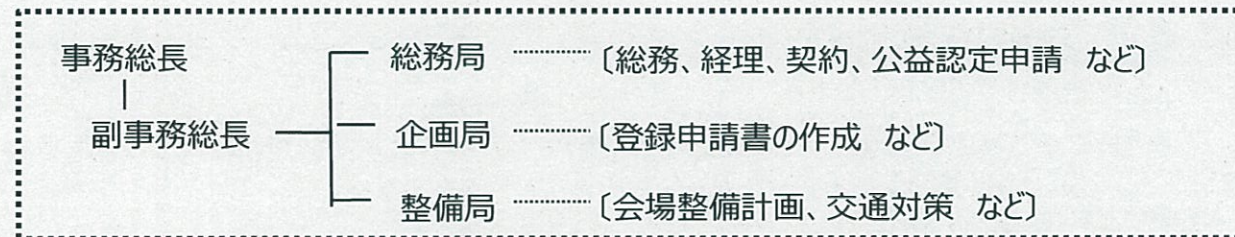
## 鳥瞰図（南西側）

- 南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。



# 2025年日本国際博覧会協会の概要

- **名称**  
一般社団法人2025年日本国際博覧会協会（後に公益社団法人へ移行予定）
- **目的**  
2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。
- **設立日**  
2019年1月30日（事務所開設2月1日）
- **主たる事務所の場所**  
大阪市内（大阪府咲洲庁舎43階）
- **役員構成**  
 会 長（※代表理事） 中西 経団連会長  
 副会長 松本 関経連会長、尾崎 関西商工会議所連合会会長・大商会頭、黒田 関西経済同友会代表幹事、立石 京商会頭、家次 神商会頭、三村 日商会頭、小林 経済同友会代表幹事、松井 大阪府知事、吉村 大阪市長、井戸 関西広域連合長
- **事務局体制** 組織イメージ



人員：国・大阪府・大阪市・経済界より職員を派遣。設立当初は26名。

※国の職員の派遣は、万博特別措置法の成立後を予定。

## 議題

### 議連の新名称について

**現名称 「2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟」**

**National Diet Members Alliance for Realizing the World Expo 2025 in Osaka**

**新名称案 「大阪・関西万博を推進する国会議員連盟」**

**National Diet Members Alliance for Realizing the Expo 2025 in Osaka, Kansai**